

産業建設 常任委員会



代表質問者
飯田正義



Q 町民と外国人が安心して生活できる環境の具体的な対応や方針

A 令和7年度から外国人労働者受け入れ体制の整備予定。住居確保支援や多言語での生活情報提供を検討中。移住・定住支援策と連携し、インドネシア政府機関との協力関係を活かして連携強化。ゴミ出しのルールは英語版や中国語版の説明資料を配布。今後は町内ごとの細かいルールに対応できる多言語情報も提供予定。

Q 観光自主財源の進捗状況と今後

A 観光自主財源の導入には関係者の理解が必要。令和6年度には複数回の説明会を実施。過去の反省点を踏まえ、広報誌やホームページでの情報発信を継続。導入後の観光振興事業は、湯沢町観光振興計画に掲げる事業に充当予定。観光客数や宿泊者数の増加など客観的指標での効果測定も検討中。

Q セルデン町との交流を深めるための具体的な目標

A 観光産業の発展に必要な体制や財源、施設整備について学ぶ機会。世界最先端の山岳リゾートであるセルデンの観光マネジメントノウハウを学べる。南魚沼市から相乗効果による提案もあり、3者による盟約締結を目指す。

Q 観光まちづくり機構の支援やデジタル観光統計を活用したマーケティング戦略

A 観光庁の人材育成プログラムを活用し、外部専門家による研修機会も提供予定。現状の宿泊者調査は回答率が少ないため、スマートフォンGPSを活用した人流データ計測へ移行検討。このデータを観光まちづくり機構や事業者提供し、観光客の行動範囲や時間帯別分布を可視化。デジタルデータを活用した戦略展開を目指す。

Q 雪国魚沼ゴールデンサイクルルートの整備状況

A 南魚沼市の生涯スポーツ課が事務局を担当し、情報発信やルート整備を進行中。令和6年度には青色の矢羽根を多くの区間で施行し視認性向上。安全な自転車走行のための路面改善や安全標識の設置実施中。新年度には案内看板設置も計画。

Q 大源太川第1号砂防堰堤仮排水トンネル利用促進

A インフラツーリズムを活用し、訪れやすい環境整備を協議会で推進。歴史的価値ある施設を観光資源として活用するため、アクセス改善や案内板設置を検討中。地域の防災教育や郷土愛育成にも活用、安全面に配慮した見学コースや説明会も企画予定。

Q 克雪住宅の整備に対する具体的な支援内容

A 過去3年間の実績を踏まえ検討。曳家式7件で補助金額150万8千円、落し式5件で111万4千円の実績あり。一般世帯と要援護世帯で補助限度額を設定。国や県への要望活動や緊急要望書の提出も実施している。

Q 旧水公園の具体的な設計

A 地域交流スペースや防災拠点としての役割を想定。多世代利用のバリアフリー設計や季節感ある植栽計画も予定。地域の歴史文化を反映し、観光客も立ち寄れる魅力的な空間を目指す。

Q 水道施設の整備や老朽化対策

A 計画的、効率的な更新や維持管理を実施中。老朽化対策や耐震化を含め、特に経年劣化の著しい配水管の更新を優先。災害時の安定給水確保のため基幹施設の耐震補強工事も推進。財政負担を考慮した長期的視点での整備計画を策定。

点での整備計画を策定。

Q 中山間地域等直接支払事業

A 耕作放棄地の減少や農地維持率の向上を目標に設定。農家の所得向上や後継者育成に注力し、共同活動による農地や水路の保全を支援。集落の高齢化に対応した効率的農地管理体制も構築中。環境保全型農業の取り組みも推進している。

Q 土地改良事業における外山堰用水路改修や赤岩堰小坂水路橋改修に向けた計画

A 用地取得や予算確保、関係機関との調整が課題。改修による利用安定化や農業生産性向上に期待。国県の補助事業を活用した計画的整備を予定。地元農家との合意形成を進め、優先順位を明確にした段階的改修を検討中。

Q 多面的機能支払い交付金による

A 地域資源の向上や農地方面の効果
A 地域資源の向上や草刈水路の補修に活用。農地の有効利用や地域活動組織の活性化を促進。水路の土砂上げや農道補修、ため池の草刈りなど共同活動を支援し農村環境を保全。景観形成や生態系保全にも貢献し、農村コミュニティの維持強化にも寄与。